

講義名称	ソーシャルワーク論Ⅴ
開講責任部署	大学
講義区分	講義
基準単位数	2.0
科目群（区分）	専門展開
アクティブ・ラーニング実施の有無	実施有り
開講時期	3年前期
必修・選択	選択
卒業認定・学位授与の方針との関連	子ども福祉学科（3）、社会福祉学科（3）

所属名称	ナンバリングコード
金城大学人間社会科学部子ども教育保育学科	24210005
金城大学人間社会科学部社会福祉学科	14214005

担当教員

氏名	所属
◎ 内 慶瑞	大学・人間社会科学部・子ども教育保育学科

授業概要	①総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークの実際、②ソーシャルワークにおける援助関係の形成、③ネットワークの形成、④ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発について、基本となる概念や理論、技術を学ぶ。
到達目標	社会福祉士として多様化・複雑化する課題に対応するため、実践的かつ効果的なソーシャルワークの様々な理論と方法を理解できる。支援を必要とする人との援助関係の形成やニーズの掘り起こしを行うための知識と技術について理解できる。社会資源の活用の意義を踏まえ、地域における社会資源の開発やソーシャルアクションについて理解できる。

授業計画表

授業計画表

第1回	【授業計画】	
	第1回 オリエンテーション	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	『講義概要』と教科書を事前に読み、授業の概要を理解する。	30
第2回	【授業計画】	
	第2回 ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割（1）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書P.1～8を予習する。	60
第3回	【授業計画】	
	第3回 ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割（2）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書P.9～14を予習する。	60
第4回	【授業計画】	
	第4回 ソーシャルワークの機能とソーシャルワーカーの役割（3）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書P.15～20を予習する。	60
第5回	【授業計画】	
	第5回 ソーシャルワークにおける面接（1）	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間（分）】
	教科書P.21～25を予習する。	60

第6回	【授業計画】	
	第6回 ソーシャルワークにおける面接 (2)	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	教科書 P.26～33を予習する。	60
第7回	【授業計画】	
	第7回 ソーシャルワークにおける面接 (3)	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	教科書 P.34～45を予習する。	60
第8回	【授業計画】	
	第8回 ソーシャルワークと援助関係 (1)	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	教科書 P.47～54を予習する。	60
第9回	【授業計画】	
	第9回 ソーシャルワークと援助関係 (2)	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	教科書 P.55～59を予習する。	60
第10回	【授業計画】	
	第10回 ソーシャルワークと援助関係 (3)	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	教科書 P.60～64を予習する。	60
第11回	【授業計画】	
	第11回 社会資源の開発とソーシャルアクション (1)	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	教科書 P.65～72を予習する。	60
第12回	【授業計画】	
	第12回 社会資源の開発とソーシャルアクション (2)	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	教科書 P.73～76を予習する。	60
第13回	【授業計画】	
	第13回 社会資源の開発とソーシャルアクション (3)	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	教科書 P.77～82を予習する。	60
第14回	【授業計画】	
	第14回 ソーシャルワーク技法とアクティブラーニング	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	インターネットなどを活用してアクティブラーニングの内容について理解しておく。	30
第15回	【授業計画】	
	第15回 まとめ	
	【事前事後学修の内容】	【事前事後学修時間 (分)】
	第1回～14回までの授業範囲を復習する。	120

履修に必要な予備知識や技能	ソーシャルワーク論Ⅰ～Ⅳで学んだ内容を理解しておくこと。
課題に対するフィードバック	授業内で実施した小テストについては添削・返却するが、試験問題・用紙は返却しない。
評価方法・基準	定期試験85% 授業態度15%
教科書	使用予定の教科書:『ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ』ミネルヴァ書房
実務経験の内容・期間	市社協福祉活動専門員 10年 県社会福祉士会副会長・理事 15年

